

ローム ミュージック ファンデーション 音楽活動への助成と奨学生の募集2023

奨学生の募集について

- 応募資格**
- ・日本国籍を有し、国内外の教育機関で音楽を学ぶ者
又は、外国籍を有し、日本の教育機関で音楽を学ぶ者
(入学を予定している者も応募可)
 - ・年齢不問
 - ・更新は1回まで可(最大2年間)ただし新たに応募申請が必要
 - ・以下の実技審査および面接日のいずれにも出席可能な者
(京都市内にて2023年3月8日(水)、3月9日(木)開催)
- ※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、実技審査および面接(第二段審査)の詳細を変更する可能性があります。
そのため、詳細変更となった場合、この限りではありません。
最新の情報につきましてはローム ミュージック ファンデーションWEBサイトにて掲載いたしますので、都度ご確認ください。
- 給付金額** 月額30万円
返済の義務はありません。
- 給付期間** 原則として1年間、2023年9月～2024年8月
※但し、2022年9月から1年以内に卒業し、その後教育機関に在学されない方は、2022年4月まで遡って給付を開始することができます。(最長12ヶ月、且つ在学期間)
- 申請方法** 公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーションのWebサイトより申請
※専攻分野によって、一部郵送提出の必要なものがあります。
※申請はPCより行ってください
- 応募受付締切** 2022年9月15日(木) 17時00分
※一部の郵送提出の必要がある方、または手書きの申請書で提出される方は、締切後の到着物は無効となります。海外からの申請も同様です、余裕をもって発送してください。
書類の到着確認は受けておりません。必要に応じて、ご自身で追跡記録が残る発送方法を検討ください。
※17時15分以降のお問い合わせは受け付けておりませんのでお気を付けください。
- 選考方法**
- ・第一段審査 提出書類に基づく審査
 - ・第二段審査 第一段審査通過者に対する実技審査および面接
実施日 : 2023年3月8日(水)又は3月9日(木)
実施場所 : 京都市内(詳細は第一段審査通過者へお知らせいたします。)
※伴奏者が必要な場合は、申請者本人が手配してください。
※旅費他の諸経費は申請者の負担となります。
- スケジュール**
- | | |
|-----------|--|
| 第一段審査結果通知 | 2022年12月末に結果連絡予定 |
| 第二段審査実施 | 2023年3月8日(水)又は3月9日(木) |
| 最終採否結果 | 2023年3月末に結果連絡予定 |
| 認定式 | 2023年8月頃、京都市内にて開催予定。採択された方は原則出席していただきます。 |
| 報告会 | 2023年8月頃、京都市内にて開催予定。 |
- ※第二段審査に関する詳細は、2022年12月末に第一段審査通過者へお知らせいたします。
※選考の経過、選考理由は採択・不採択にかかわらず、個別にお答えしておりませんので、予めご了承ください。
※採択された場合、氏名・学校・専攻をローム ミュージック ファンデーションの発行物およびWebサイトに掲載します。
- ◇お問い合わせ ※8:15～17:15(土・日・祝日を除く)
公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション
TEL: (075) 311-7710 FAX: (075) 311-0089 E-mail アドレス: rmf@rohmi.co.jp
在宅勤務を一部実施しておりますため、お問い合わせにつきましては基本的にメールでお願いいたします。

<個人情報の取り扱いについて>

公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーションに提出された貴殿の個人情報につきましては、選考審査および音楽活動への助成と奨学援助の実施に必要な範囲に限り使用させていただくとともに、法令の定めるところに従い適切な取り扱いを行います。

提出書類について

申請書類の状況も審査の対象となります。
以下を確認の上、記入漏れや不備のないようご注意ください。

提出書類 [申請書および添付書類]			Webサイトでの申請	郵送での申請		
1	申請書		必須	システム上で必要事項入力	—	
2	奨学生の更新にあたって (対象:現在および過去の奨学生)		対象者のみ	テンプレートをダウンロードの上、記入し、スキャンデータをアップロード	—	
3	成績証明書	日本語以外の場合和訳添付	必須	スキャンデータをアップロード	—	
4	推薦状 (2名分)	日本語以外の場合和訳添付	必須	テンプレートをダウンロードの上、推薦者の押印またはサインを受け、スキャンデータをアップロード	推薦者より、申請者による開封が認められていない場合、郵送提出を認める	
5	在学証明書	日本語以外の場合和訳添付 (対象:給付期間中の在学学校と現在の在学学校が同一)	対象者のみ	スキャンデータをアップロード	—	
6	音源データ 映像データ 楽譜	鍵盤楽器・弦楽器・ 管打楽器・声楽	対象者のみ	15分以内の音源データ	データをアップロード	—
				15分以内の音源データ	データをアップロード	—
		作曲		提出音源の楽譜データ	データをアップロード	アップロードできない場合に限り、楽譜1部郵送提出を認める
		指揮		15分以内の映像データ	—	郵送にて提出
				15分以内の音源データ	データをアップロード	—
		コレペティートア		15分以内の映像データ	—	郵送にて提出
7	音源・映像資料内容一頁(対象:6.音源データ・映像データを提出する方)		対象者のみ	テンプレートをダウンロードの上、記入し、スキャンデータをアップロード	—	
8	研究の概要 (対象:音楽学を専攻の方)		対象者のみ	テンプレートをダウンロードの上、記入し、スキャンデータをアップロード	—	
9	その他 (選考審査上参考になるとと思われる資料) 最大3点まで		任意	データをアップロード	—	

※書類準備の際は、必ず「2023年度 奨学生の募集について」をご確認ください。

※ 郵送提出いただいた場合、提出書類は返却しません。

※ 応募受付締切後に申請内容に変更が生じた場合(入学予定学校の変更、入学・卒業年月の変更など)、お問い合わせ先へご連絡ください。

1. 申請書について

①申請システムにて必須項目を入力してください。その際、記入例を参考にしてください。

・入力いただいた連絡先(電話番号・メールアドレス)に事務局より問い合わせる場合がございます。

もし**連絡が付かない場合、申請辞退・審査辞退とみなす可能性がございます**のでご注意ください。

②「学歴および申請学校」について

・申請の時点で、**正規年数や卒業年月が未定の場合は目標としている年月、少なくとも在学しようとしている年月を記入してください。**

・**給付期間中の在学予定学校の入学・卒業予定も記入してください。**

③「経済状況」について

・**公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーションの奨学金の有無に関わらず、勉学されることを前提としています**ので、公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーションの奨学金を含めずに収入の計画を立ててください。

2. 「奨学生の更新にあたって」について (対象:現在および過去の奨学生)

給付期間終了時に提出していただく「生活状況報告書」と重複する点がありますが、直近1年間の状況を中心に記載してください。

3. 成績証明書について

①現課程(不可能な場合は前課程)のものを提出してください。

大学院在学の方で、専門課程の成績しかない場合は、大学卒業時の成績証明書も合わせて添付してください。

②日本語以外での記載の場合は翻訳(本人翻訳可)を必ず添付してください。

4. 推薦状について

①**所定の書式を使用してください。**

推薦者の押印またはサインが必要です。

②推薦者は(i)を2名又は(i),(ii)を各1名とします。

(i)指導者の推薦(特に、更新の申請をされる方は、現在の学業の状況・成績等についての指導者の意見が盛り込まれるよう依頼してください。)

(ii)その他推薦者として適当と認められる者の推薦

但し、配偶者と、本人および配偶者の父母・兄弟からの推薦は受け付けできません。

③推薦者は日本人・外国人を問いませんが、日本語以外での記載の場合は翻訳(本人翻訳可)を必ず添付してください。

5. 在学証明書について

①給付期間中の在学予定学校と現在の在学学校が同一の場合、「在学証明書」を提出してください。(異なる場合は不要)

入学予定の場合でも申請を受け付けますが、奨学金の給付にあたっては入学が確定していることが必要です。

従って、採択された場合には、給付開始月までに「入学許可書」を提出していただきます。

②日本語以外での記載の場合は翻訳(本人翻訳可)を添付してください。

6. 音源データ、映像データ、楽譜について

専攻分野に応じて以下のいずれかを提出してください。

録音・録画の状態が著しく悪い、又は音が聞こえないなどの不備があると、申請を受け付けられない場合があります。

指揮・コレペティートア専攻の方が、映像データを郵送提出される際は、DVDプレーヤー【録画方式NTSC】で再生可能な形式で、盤面に〈氏名〉、〈専攻分野〉、〈収録時間〉を記載して、プラスチックケースで提出してください。

●鍵盤楽器、弦楽器、管打楽器、声楽

2022年1月以降のご自身の演奏音源データ(15分以内・曲目自由・できれば単独演奏)を提出してください。

●作曲

ご自身の作曲した曲の演奏音源データ(15分以内)とその録音の楽譜データを提出してください。

(楽譜データが多量の場合は冒頭から十数ページのみ提出)

過去に申請し不採択となった方は、その際の曲および演奏音源の再提出は受け付けられません。

●指揮

2022年1月以降のご自身の指揮の映像データ(15分以内・曲目自由)を郵送にて提出してください。

(コンサート、リハーサル、ピアノでの練習風景など)

●コレペティートア

2022年1月以降のご自身のピアノ演奏音源データ(15分以内・曲目自由・できれば単独演奏)を提出してください。

2022年1月以降のご自身の指導する映像データ(15分以内・曲目自由)を郵送にて提出してください。

7. 「音源・映像資料内容一覧」について (対象:6. 音源データ・映像データを提出する方)

上記6. で音源データ、映像データを提出する方のみ「音源・映像資料内容一覧」を提出してください。

8. 「研究の概要」について (対象:音楽学を専攻の方)

ご自身の研究の概要について、お書きください。

9. その他(選考審査上参考になるとと思われる資料)について (必須ではありません)

①出演コンサートチラシや現在までの専攻分野における成果物等があれば添付することができます。

②資料は最大3点まで

③音源・映像は受け付けられません。(上記6. で提出するものを除く)